

平成28年12月9日
在南アフリカ共和国日本国大使館

大使館からのお知らせ ～年末年始における安全対策について～

毎年クリスマスシーズンから年始にかけて犯罪発生率が急増する傾向が認められます。最近の在留邦人に係る被害例としては、高速道路を走行中の車両に対するけん銃使用による強盗（10月）や信号待ちの車両をターゲットにしたスマッシュ・アンド・グラブ（11月）、ナイフ使用による屋外強盗（11月）が報告されています。

これまでの邦人被害例を見る限り、御赴任から1年乃至2年経過して南アの生活に慣れてきた頃に被害に遭っているケースがほとんどです。日本では通用することが南アではNGである場面は多々あります。皆様方におかれましては、犯罪が多発するこの時季にあらかじめ防犯意識を高めていただくとともに、下記事項に御留意の上、御家族の安全を最優先とした行動を心がけてください。

● カージャック対策

【傾向】

帰宅時のゲート開放におけるわずかな隙をねらったケース、高速道路の出口（オフランプ）で信号待ちの車両がターゲットになるケースが多発しています。

【対策】

ショッピング帰りやATMでの取引後には、こちらの様子をうかがっているような不審人物や追尾車両の有無に気を配るとともに、かかる状況が認められた場合には、直帰せずに直近の警察署やモールなど安全が確保できる場所に一時的に避難するなどの措置を講じてください。また、最近の事例のように高速道路を走行中の車両をターゲットにしたケースも発生していることから、特にサービスエリアに立ち寄った際には、周囲への警戒を怠らず、出発時からの追尾車両の有無を確認するよう心がけてください。

なお、過日、お知らせした通り、カージャックの多発地域につきましては、下記を御参照ください。

http://www.wheels24.co.za/Road_Trip/News/hi_jacking-hotspots-in-sa-joburg-pretoria-cape-town-durban-20161122

● 屋外(路上)強盗対策

【傾向】

犯人は複数犯である場合が多く、犯行にはけん銃、ナイフ等の凶器が容易に使用されています。交通量が多い昼間帯においても発生しており、ターゲット、時間、場所にかかわらず発生しているのが現状です。

【対策】

旅行者／出張者及び在留邦人に係る強盗被害の多くが、徒歩で外出中に被害に遭うパターンです。外出時は車両利用を原則とするとともに、人気のない展望台や公園等へむやみに立ち寄ることは厳に控えてください。また、普段から貴重品の携行法に留意する（たすき掛け鞆やウェストポーチなどを使用）とともに、屋内においても外見から明らかに貴重品と分かるようなラップトップカバンやアタッシュケースなどは携行しないようにしてください。いわゆる“歩きスマホ”も厳禁です。

● 窃盗(スマッシュ&グラブ、ATM ねらい等)対策

【傾向】

女性の単独運転者や屋外 ATM 利用者がターゲットになるケースが確認されています。また、飲食店等におけるスキミング被害も依然として多発しています。

【対策】

走行中は外側から見える位置（助手席／後部座席 注 犯人は特に座席の足下を物色しています）に貴重品を置かず、速度調整をするなどして交差点ではできるだけ停まらない工夫をしてください。やむなく停止する場合には、前車との間隔（1台分以上）を空けていつでもその場から離脱できるようにしてください。

ATM を使用しての取引は、大型ショッピングモール内の銀行窓口が併設されており、かつ、警備員が配置されている安全な場所を選定してください。また、取引中に他人から声を掛けられた場合には、即時取引を中断し銀行窓口又は直近の警備員に応援を求めてください。

飲食店等においてカード精算する際には、自身の目前でカードマシンを操作させ、スワイピングによる決算は厳に避けてください。また、カードを手渡す際に、ベルトの内側等に隠匿したデバイスによりカード情報を盗取する手口も確認されていますので、精算時におけるウェイターの動向には細心の注意を払ってください。